



Greeting

北海道洞爺湖サミットを契機として

—— 開催にあたって ——

実行委員会委員長
【伊達市長】
菊谷 秀吉

このたび、皆様をお迎えする、洞爺湖周辺1市3町は、本年7月7日から9日までの間、環境を主要テーマとする北海道洞爺湖サミットが開催された地であり、北海道の南西部に位置し、その南方は、イルカや鯨の遊弋する豊かな噴火湾に接し、洞爺湖、有珠山を取り囲むように存在しています。

サミット会場にも選ばれたこの地域は、支笏洞爺国立公園を擁し、豊かな自然環境と、これがもたらす多様な自然の恵みを受け、古くから道内最大の観光地として、そして、山海の味覚の宝庫として知られてきました。

この地域の歴史は、数十年毎に噴火を繰り返す火の山・有珠山とともにあります。そして、この地の多くの恵みは、この火の山によってもたらされているといっても過言ではありません。しかし、この地の主要産業である観光は、直近の2000年の噴火の影響から脱し切れず、また、通過型観光からの脱却、景気の後退や本格的な少子高齢・人口減少時代の到来といった諸課題への早急な対応に迫られています。

今、私たちは、サミットを契機として高まる環境意識を追い風として、環境と調和する持続可能な観光地、豊かな自然を満喫し、賞くことができる滞在型観光地をめざし、取組を加速させています。今回、皆様にもエクスカージョンで体験いただく「洞爺湖周辺フットパスコース」も、サミット開催に合わせ整備を進めたもので、このような課題の解決を狙ったものです。有珠山という絆に加え、今回サミットという共通のキーワードを手にした私たちは、各地の多様な資源をどのように結びつけ、面としての観光地づくりを進めていくべきか、また、持続可能な観光のあり方、エコツーリズムの振興などについて、多くの皆様の意見を伺い、ともに学び、考えていきたいと思えます。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

Outline

参加・募集要領

参加費

一般 14,000円/人
JES会員 12,000円/人

参加費の一部払戻しはいたしておりません。

参加費に含まれるもの

- 分科会参加費、資料代等
- JTB取扱い手数料
- 交流会参加費(1日目夜/洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラスにて)
- エクスカージョン参加費(2日目)
- エクスカージョン昼食代(2日目昼)

申し込み方法

別添「JTB」申込書にてFAX又は郵送にてお申し込みください

お問い合わせ

大会内容・エクスカージョン・ツアー体験報告会・分科会については

TEL.0143-24-9592

お申し込み方法・宿泊・送迎バス関連については

TEL.011-221-4800

基調講演者紹介



いしもりしげのぶ
石森 秀三 氏

北海道大学観光学高等研究センター長(教授)、北海道大学大学院観光創造専攻長(教授)。

1945年神戸市生まれ。甲南大学経済学部卒業。ニュージーランド国立オークランド大学大学院に留学後、京都大学人文科学研究所研究員、国立民族学博物館教授、国立民族学博物館研究部長、同文化資源研究センター長などを経て、現在に至る。放送大学客員教授。観光文明学、文化開発論、博物館学専攻。観光立国懇談会委員(内閣府)、国土審議会専門委員(国土交通省)、文化審議会専門委員(文化庁)、文化審議会企画調査会会長(文化庁)、ラグジュアリー・トラベルマーケット研究調査委員会委員長(経済産業省)、ILTM2007ジャパンナイト実行委員会委員長(経済産業省)、広域・総合観光集客サービス産業支援事業運営委員会委員長(経済産業省)、YOKOSO! JAPAN大使選定委員会座長(国土交通省)、観光と環境に関する研究会座長(国土交通省)ほか。